

鮭から見える

食べるだけじゃなく、
もったいないじゃない！

いわての海

身近だけれど意外に知らない「鮭」のあれこれを学ぶ連続講座です。第1回目のテーマは、..

岩手に帰るサケの生態 ～北上川を中心に～

同じ岩手県のサケでも北上川と沿岸地域の河川では、異なる生態を持っていることをご存知でしょうか？

連続講座の第1回目は、生態のなかでも「回遊」に焦点を当てます。サケの基本的な生態から、北上川を遡上するサケの独特の生態や、沿岸地域のサケとの違いなどについて学びましょう。



【講師】

きたがわ たかし
北川 貴士 氏

東京大学大気海洋研究所
沿岸海洋社会学分野
准教授

開催日

2019年11月9日(土)
13時30分～14時30分

定員

60名＜受講無料＞

集合場所

岩手県立図書館 3階入口
(※開始15分前より会場にご案内いたします)

申込受付

10月1日(火)より

- ・カウンター、またはお電話で
- ・電話：019-606-1730

【企画協力】

海と希望の学校 in 三陸 盛岡分校

東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター

岩手県立図書館

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
TEL/019-606-1730 FAX/019-606-1731

鮭から見える

食べるだけじゃなく、
もったいないさ！

いわての海

豊かな漁場に恵まれた岩手県沿岸部では、沿岸漁業や地形を活かした養殖業が盛んに行われています。中でも「鮭」は岩手県にとって重要な産物で、漁獲量は北海道に次ぎ全国第2位、日常生活においても旬になると“秋味”の名称とともによく目にします。春先には稚魚の放流がニュースで採り上げられ、県のシンボル魚が「南部さけ」となっていることから、居住地が沿岸であると内陸であるを問わず、県民一般にとって親しみ深い魚であると言えます。

しかし一方で、鮭について学ぶ機会はそれほど多くなく、その生態や歴史的、文化的な背景などについて知る人は、それほど多くないのではないのでしょうか？

この講座は、川と海とを生活圏とし、わたしたちにとって身近な魚である「鮭」をテーマに、“身近だけれど意外に知らない「鮭」のあれこれ”を学ぶ連続講座です。

この機会にぜひ、鮭について一緒に学びましょう！

第1回目：2019年11月9日（土）

【テーマ】岩手に帰るサケの生態 ～北上川を中心に～

第2回目：2019年12月7日（土）

【テーマ】三陸沿岸地域で獲られたサケの行方

[※第2回目の申込受付開始は、11月1日（火）からです]